

江津の苔で、 世界を潤す。

江津市苔プロジェクト
推進コーディネーター

おのやま ゆう
小野山 優



新連載スタート

江の川流域を中心に、豊富に生えているコケ。まちぐるみでコケの栽培・販売に取り組むプロジェクトが平成27年にスタートしました。

昨年8月に、このプロジェクトの推進コーディネーターに就任した、地域おこし協力隊・小野山が、プロジェクトの取り組みや、コケの魅力を連載します。

江津の苔で、世界を潤す

世界的に問題となっている地球温暖化は、作物などの生育に大きな影響を与えます。コケは過酷な環境下でも生きていくことができ、管理の手間がかからないため屋上や壁面の緑化に有効だと注目されています。

平成28年6月、コケ生産者・市内企業・市で構成された江津苔生産者の会が設立されました。生産技術と品質を向上させ、求められる量の確保と安定供給の実現を目指し活動しています。

「江津のコケ」としてのブランド力の強化や販路開拓活動などの連携をとることで、地域の活動を活性化させることを目標としています。詳しい活動などは、次回から紹介します。

52kokeproject とは

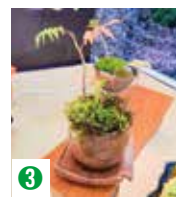
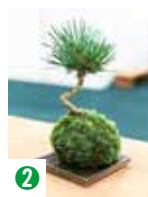
地域資源の「コケ」を活用して農地の保全や農業従事者の所得向上につなげるプロジェクトです。

自治体・企業・生産者・コミュニティが協力しあい、まちぐるみでのコケの栽培・販売に取り組んでいます。

最新情報はホームページやSNSなどで発信中です。



▲ホームページ



①スギゴケ。栽培するコケは落ち葉や虫などが混ざりにくく、見栄えの良い商品になります。②コケ玉盆栽は自分の好きな植物やお皿を選んで楽しむことができ、都会でも人気があります。③石見焼の器とコケのインテリア商品。④耕作放棄地を利用したコケ栽培の様子。